

栗原市

ノビエの2.5葉期まで 初中期一発除草剤
アクト® 粒剤
イネミス・野菜害虫の防除に
ガゼット® 粒剤
日産化学

文字甚旬



栗原市栗駒文字地区の郷土芸能である文字甚句は、昭和10年（1935）頃から盛んになった民謡です。文字地区には、秋田との要路である羽後岐街道が通っており、藩政時代より物資の交易や、文化交流が盛んに行われていました。昭和初年頃、秋田から芸達者な人物が文字にやって来て、多くの若者が歌や踊りを教わりました。そのひとりで熱心に芸域を広めた菅原信一氏が作った文字甚句は、小太鼓や笛、鉦のにかねにぎやかな囃子と明るい調子の歌と踊りが演じられます。歌詞は郷土である文字を歌ったものであり、地域の民謡として親しまれています。



文字よいとき 栗駒山と
細倉鉦山サアサーその合の里
へスススイ舌イサ
川の源 栗駒山に
残る白雪サアサー駒姿
音に名高き 栗駒山の
下を流れるサアサー迫川
私文字の 山中生れ
山で生まれてサアサー沢育ち
文字山奥 沢中さえも
住めば都のサアサー風が吹く
踊れ今夜の 月出るまでも
明日は働けサアサー
星出るまでも